

## 文部科学省 がん対策に係る平成22年度概算要求について

平成22年度要求額(平成21年度予算額)

○科学研究費補助金 (2,000億円の内数(1,970億円の内数))

特定領域研究5領域 ( — (45億円))

※特定領域研究は、平成20年度より新規募集を停止し、新学術領域研究(平成22年度要求額 262億円の内数)に順次移行している。なお、がん分野支援活動(11億円)は262億円に含まれる。

○がん・生活習慣病等克服のための先端医科学研究開発イニシアチブ

51億円 ( 62億円)

ー橋渡し研究支援推進プログラム 24億円 ( 24億円)

ー分子イメージング研究プログラム 7億円 ( 11億円)

ーオーダーメイド医療の実現プログラム 20億円 ( 27億円)

○革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアチブ

(うち革新的細胞解析研究プログラム) 10億円 ( 8億円)

○粒子線がん治療に係る人材育成プログラム 0.8億円 ( 0.8億円)

○がんプロフェッショナル養成プラン 事項要求 ( 20億円)

○放射線医学総合研究所におけるがん治療研究等 71億円 ( 68億円)

○その他独立行政法人におけるがん治療研究の推進 0.4億円 ( 0.5億円)

○国立大学法人運営費交付金等の確保 24億円 ( 16億円)

# 文部科学省におけるがん対策について

平成22年度概算要求額：\*157億円  
(平成21年度予算額：176億円)

戦略目標：我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

## がんの本態解明

### ・科学研究費補助金

学術研究を支援することにより、がんの本態解明の飛躍的推進を図る  
なお、特にがん分野については、「がん分野支援活動」を実施する予定である。(約11億円)

(H22要求額：\*2,000億円の内数)

### ・革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ

近年急速に性能が向上している高速の遺伝子解析能力を持つ装置(シーケンサー)等を駆使し、未解明ながん化の本体の解明を目指す  
(H22要求額：10億円)

## トランスレーショナル・リサーチ

### ・橋渡し研究支援推進プログラム

がんや難治性疾患等の重大な疾患に対する有望な基礎研究の成果を着実に実用化させ、国民へ医療として定着させることを目指す

(H22要求額：24億円)

### ・分子イメージング研究戦略推進プログラム【新規】

分子イメージング技術について、創薬プロセスの改革、疾患の診断技術等への活用に向けた実証を推進

(H22要求額：7億円)

### ・オーダーメイド医療の実現プログラム

世界最大規模のバイオバンクを活用し、がんの発症リスクに関連する遺伝子特定等を推進

(H22要求額：20億円)

## 革新的ながん治療法等の研究開発

### ・放医研におけるがん治療研究等

「重粒子線がん治療法」等の開発を推進

(H22要求額：71億円)

### ・粒子線がん治療に係る人材育成プログラム

専門知識等を有する人材をオン・ザ・ジョブ・トレーニング等で育成

(H22要求額：0.8億円)

### ・国立大学法人運営費交付金等の確保

大学におけるがん治療研究等を推進

(H22要求額：24億円)

等

## 大学におけるがんに関する教育・診療

### がんプロフェSSIONAL養成プラン

がん医療の担い手となるがん専門医師及びがん  
に特化した医療人の養成を行うための大学の取  
組みを支援  
(H22要求額：事項要求\*)

### 医学部教育における取組

「医学教育モデル・コア・カリキュラム」  
に基づくがんに関する教育の実施

### 大学病院における取組

がんセンター等の横断的ながん治療等を行う  
診療組織の設置等による診療の充実

\*：平成22年度概算要求額157億円の他に科学研究費補助金(2,000億円の内数)及び大学におけるがん専門医等養成の取組(事項要求)を行っている